



2025 年 11 月 7 日

各 位

会社名 セントケア・ホールディング株式会社
代表者名 代表取締役社長 藤間 和敏
(コード：2374 東証プライム)
問い合わせ先 常務取締役管理本部長 瀧井 創
電話番号 03-3538-2943

2026 年 3 月期第 2 四半期（中間期）連結業績予想と実績値の差異に関するお知らせ

2025 年 5 月 15 日に公表いたしました 2026 年 3 月期第 2 四半期（中間期）の連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

1. 2026 年 3 月期第 2 四半期（中間期）連結業績予想数値と実績値との差異 (2025 年 4 月 1 日～2025 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1 株当たり 中間純利益
前回発表予想（A）	百万円 29,236	百万円 972	百万円 952	百万円 649	円 銭 26.36
実績値（B）	28,922	1,288	1,367	1,062	43.10
増減額（B－A）	△313	316	414	412	—
増減率（%）	△1.1	32.6	43.5	63.5	—
（ご参考）前期実績値 （2025 年 3 月期第 2 四半期）	27,993	1,287	1,333	808	32.77

2. 連結業績予想と実績値の差異の理由

当中間連結会計期間の業績につきまして、売上高では主に新規出店と前期での開設拠点の貢献とM&Aの効果も加わり 289 億 22 百万円（前年同期比 3.3%増）と増収で推移するも、主力サービスの一つでもある看護小規模多機能が想定に対しては弱い形で推移したことや住宅リフォームやその他事業等においても軟調となったことから当初計画には届かずに着地いたしました。費用面では採用環境の激化などを背景に、想定に対しては増員が進まず、結果として人件費や採用関連費用が抑制されたことや、販売費及び一般管理費の一部の経費が下期へと後ろ倒しとなった影響等もあり、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する中間純利益は、前回発表の予想を上回りました。

なお、上記に関連して、重点課題である ICT 基盤の全面刷新や人材採用面では、その進捗としては遅れて推移していることから、下期ではこれらに伴う開発コストや導入費用、セキュリティ強化策、人材採用に関連する費用などの更なる増加を見込んでおり、また、経営環境の見通しは依然として物価高騰や賃金の上昇など先行き不透明な状況であるため、2026 年 3 月期通期業績予想につきましては、据え置きとさせていただきます。

（注）上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したもので

あり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上